

24年度 パドラーズトピックスー11

「農業体験パート2稲刈り ・ 9月29, 30日 」

スギッチファンド震災支援事業の最後のイベントです。春に田植えをした田んぼの稲刈り体験です。田植えをした方を優先に招待して行いました。

最初に伊藤理事から、挨拶と稲刈りについての注意などあり、みなさんやるぞという気持ちになってきました。自分が植えた稲を収穫するなんて中々体験できないことをさせていただくなんてと胸を詰まらせていました。がいざ刈りだすとご覧のようにみなさん笑顔で初めての挑戦に慣れない手つきで頑張っていました。



伊藤理事も今年は稲刈りが早く、それでも皆さんが刈り取る部分を残していただきました。福島から避難して参加した古濃さんはもともと農家で、果樹園なども経営されているので、コンバインを運転する姿はとても楽しそうで印象的でした。もっとやりたそうでした。



その後雄和市民センターに向かい、新米でのきりたんぼづくりに挑戦しました。石田セツ子、菅原フサ子 深浦孝子理事の協力と指導の下、和気あいあいで行われました。

形は様々で、お互い作ったきりたんぼを見笑いながらの作業で、これなら気仙沼に帰って仮設住宅で皆さんに振る舞えと、うれしそうに話していました。



伊藤理事の自慢の「フルーテ米」での出来上がったきりたんぼを試食する姿は、笑顔に象徴されるように「うまいべ、俺が作った米」だと言わんばかりです・・・お世辞抜きにみなさんおいしかったそうです。



夜は恒例になりました「隠れ芸能大会」の懇親会です。春の田植え体験の時は奥さん一人の参加でしたが、今回参加した古濃さんご夫婦の歌あり、また気仙沼の五十嵐さんの踊りに皆さんの芸達者には春にも驚かされました。中でも今大内さんの旦那さんが震災前はよくお酒が入ると踊っていたようでしたが、震災後は一切踊らなくなり、奥さんの話だと今日のために練習して震災後初めて踊ったそうです。踊る旦那さんを見る目が潤んでいました。



最後は、伊藤理事杯の演芸優勝者が決まりました。演歌を熱唱した松田さんと決定し、伊藤理事からお米30キロプレゼントされました。



その後、宴会は終了しましたが各部屋に戻り、夜中まで語り合いました。今年3回の交流で、お互い顔なじみの方もいて心から話し合える新たな仲間ができ、このような機会を持ていただいたことに感謝の言葉をもらいうれしく思いました。



次の日はリンゴ狩りとサツマイモ堀に挑戦しました。雄和の観光農園の伊藤さんから指導を受けて、おいしいリンゴの見分け方やサツマイモの掘方の注意を受けてからの作業となりました。



気仙沼市南郷地区自治会長の伊藤さんもこの通り、掘った芋をうれしそうに手にして記念撮影です。帰ったら秋田の良さを気仙沼でPRするからと言ってくれました。



お昼はクリプトンでのお別れ昼食会です。今年計画したすべてのイベントも最後になり、思ったより静かな昼食でした。別れが近くなったせいもありますが、脳裏に思いがよみがえり、それぞれの思い出として残ったことでしょう。明日に向かっての一つの支えになってくれればと思います。